

生体病態学 I

授業概要

精神と行動の障害について、それぞれの病態生理や原因を個体レベルから分子レベルにいたる各層まで広く学ぶ。さらに、それらの診断法、治療法、対処法、予防法などを最新の研究結果や知見から学習する。

担当教員

堀口 淳 (主担当)	教授・精神医学
宮岡 剛	准教授・精神医学
橋岡禎征	講師・精神科神経科
和氣 玲	講師・精神科神経科

一般目標 general instructional objectives

精神活動に関連した疾病の治療法、対処法、予防法を習得あるいは確立するために、精神疾患の発症メカニズムと病態生理を学習する。

行動目標 specific behavioral objectives

1. 睡眠覚醒障害の概念と病態生理を述べることができる。
2. 摂食障害の概念と病態生理を述べることができる。
3. 認知症の発症メカニズムを概説できる。
4. 統合失調症の病態生理と発症メカニズムを概説できる。

成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

使用テキスト・参考文献

適宜、資料を配布する。

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担 当
1	イントロダクション	堀口 淳
2	睡眠覚醒障害の病態生理 1	〃
3	睡眠覚醒障害の病態生理 2	〃
4	摂食中枢と摂食調節機序	和氣 玲
5	摂食障害の病態生理 1	〃
6	摂食障害の病態生理 2	〃
7	摂食障害の病態生理 3	〃
8	老年期認知症の一般的病態生理 1	堀口 淳
9	老年期認知症の一般的病態生理 2	〃
10	アルツハイマー病の病態生理	〃
11	統合失調症の病態生理 1	宮岡 剛
12	統合失調症の病態生理 2	〃
13	統合失調症の病態生理 3	橋岡禎征
14	アルツハイマー病の行動観察	堀口 淳
15	統合失調症患者の行動観察	〃